



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年6月27日

第10号

ことばを育てる 心を育てる

★読み聞かせの楽しい時間

本校では毎週月・木曜日に学校司書の村椿先生による読み聞かせの時間をとっています。村椿先生はそれぞれの学年や時期にちょうど合ったおすすめの本を準備してこられ、丁寧に読み聞かせてくださいます。「今日はどんなお話かな？」子供たちは興味をもった様子で聴き入り、終わると感想が自然と飛び交います。

学級担任の先生が読み聞かせをするときもあります。大好きな先生の声を通して物語の世界に引き込まれていくのは、子供たちにとって心豊かなひとときだろうと思います。読み聞かせを通して新しい言葉を知ることにもつながります。

★短歌大会の取組から・・・

先週は「校長杯短歌大会」の結果発表の週でした。子供と大人合わせて108首の歌が集まり、皆で審査し投票し合いました。作品集も1冊ずつ配りました。保護者・ご家族の皆様にもご一読いただけていましたら幸いです。

18日（水）の結果発表では、聞き漏らさずにしっかり聞き取ろうとランチルーム内がぐっと静まりかえり、皆の関心の高さを感じました。入賞歌の番号を聞くだけで「あ（自分の歌だ）！」と小さく反応する子、歌を読み上げると「ああ、あの歌か」とうなずく子、そして作者名を明かすと「えっ（あの子の歌だったんだ）！」といったどよめきが会場全体に広がりました。

最高位の「天」をとったのは4年生のTさんでした。Tさんはこれまでも「毎月の短歌」に積極的に出詠を続けてきました。楽しみながら続けることで腕を上げたのでしょう。

★表したいことにぴったりの言葉を探し考える楽しさを

「短歌づくり」は国語の授業で取り組む教室もあり、私は3つの授業に顔を出しました。とりわけ4、5年生の教室では「『楽しいな』『うれしいな』『おいしいな』といった言葉はこれまでよく使ってきた言葉だけど、上学年にはちょっとNGワード。これからはなるべく使わないように」と言いました。「えー、難しい」と言いながらも、一生懸命考えて別の言葉を探そうとする様子が見られました。

- ・「アジサイの花きれいだな」→「アジサイの花いきいきと笑っているよ」
- ・「じんじんまつり楽しみだなあ」→「じんじんまつり早く行きたい」
- ・「シュートを決めてうれしいな」→「シュートが決まり思わずさけぶ」

どうでしょう。気持ちをストレートに表す言葉よりも、より具体的でおもしろく、味わい深い表現になったと思いませんか。その場面の様子や自分の言葉や行動をよく思い出すことが大事になってきます。

★名言やことわざを知る機会を大切に

毎月の授賞集会の最後には校長としての話ができる時間があります。23日（月）は「勇氣」に関する話をしました。私自身が高校生の頃以来大切にしている「義を見てせざる[なさざる]は勇なきなり」の言葉を取り上げ、「人として大事だ、正しいことだと分かっているのにそれをしないのは勇氣がないからだ」＝「正しいと分かっていることは勇氣をもって実行していこう」と話しました。自分の非を認めて謝ること、困っている人を助けること、挨拶や授業中の挙手等も当てはまるかもしれません。小さなことから自分の中にある勇氣を育て、いざというときに人として正しい行動ができるようになってほしいという思いを伝えました。

これからもこうした機会を少しずつ取り入れて、子供たちの心を育てていけたらと考えています。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名（

）



Tさんへのインタビュー



★校内の授業研究から考えたこと

25日(水)は「わかば級」「なかよし級」の授業を全校の教職員で参観する校内研修を行いました。ゲームを通して、自分の気持ちの表し方や他者とのコミュニケーションの方法を学んでいく授業でした。例えば「いいね」「すごいね」などの「あったか言葉」をその場の状況に応じて使えるようになるには、そうした言葉を自分が人から言ってもらう体験が欠かせないのではないかと思います。

また、さまざまな感情を表す言葉を増やすには、その時々の子供の気持ちに大人が共感しながら「ときどきしたね」「心があたたかくなったね」と、言葉を示していくことが効果的です。

やはり、言葉は具体的な体験や場面の中でこそ、その意味を実感しながら理解でき、身に付いていくものだろうと思います。いろいろと大事なことを考えさせられた授業でした。



シリーズ「教室におじゃまします」6月19日(木)2年国語科の巻

この日は教科書で学習中の「スイミー」に関する漢字の学習でした。各自が筆箱、下敷き、練習ドリルのみを机上に用意し、すっきりと片付いた状態で準備はO.K! その後は廣瀬先生の声をよく聞き、黒板に注目しながら、真剣に学習を進めました。

教…「数」と似ているね」「まず土を書いて…
あ、左側は「考」にも似ているな」

家…「今」「会」でも屋根(※かんむり)を書いたけど、「家」の屋根は違う形だね」「空」とか「字」とかと同じ屋根だよ」「最後のところは「水」の書き方に似ていると思う」

このほかにも、「光」は〇〇さんの名前の字だ」「池」はさんずい。水に関係があるんだったね」などと次の漢字へと移るたびにあちらこちらでつぶやきが聞こえました。これまでに身に付けた漢字の知識や生活経験を生かしながら、楽しんで学習している子供たちの姿勢を強く感じました。

腕を上げて空に大きく字を書く「空書き」、ドリルの文字をなぞる「なぞり書き」にも一生懸命取り組み、その後はドリルでの個人練習に進みました。頑張っている2年生、とても素敵です。

廣瀬先生は昨年度も2年担任をした経験を生かし、全体での一斉の指導と個別の学習とを上手く組み合わせてテンポよく授業を進めていました。集中が切れそうな子には「〇〇さん、ハイ!」と個別に声がけをして、注意を促したり理解度を確かめたりしていました。

たかが漢字、されど漢字。鉛筆を正しく持ち、筆順や字形を理解して、基本的な漢字を日常的に難なく自由に書きこなせるまでに練習してほしいと思います。日本人ですから…。



<おまけのひとりごと>先週の猛暑の時期が過ぎ、今週は梅雨らしい天候となっています。校長室も今週になってエアコンをおそろおそろ使い始めました。なぜ「おそろおそろ」かというと、冬の暖房モードの時、何度か「故障?」と思えるようなエラーが発生したことがあったからです。今夏の「冷房モード」はさていかに…? 幸い今週これまでのところは問題なく稼働しています。もちろん各教室でも天候に合わせてエアコンを活用しています。皆様のお宅も健康第一でエアコンを上手に活用してくださいね。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()